

## 『帝塚山プラットフォーム』の構築による学際的『奈良学』研究の推進 最新の取り組み

帝塚山大学は、文部科学省「平成29年度 私立大学研究ブランディング事業」(補助期間：3年間)に採択され、本学独自の「奈良学」研究を通じて、奈良の活性化をめざす『帝塚山プラットフォーム』の構築による学際的『奈良学』研究の推進を進めています。

本事業につきましての最新の取り組みを紹介いたします。



鷺森教授(奈良学総合文化研究所 所長)講演の様子

特別展示「奈良学の軌跡展」萌芽期から黎明期、そして発展へ」の開催  
帝塚山短期大学名誉教授の故青山茂先生が提唱した「奈良学」は、単なる郷土史や古代史にはとどまらず、奈良に存在するさまざまな文化資産や観光資源を巨視的かつ微視的にとらえ直すことで、奈良に暮らす人々と奈良とのかかわりに光を当てるものでした。

青山名誉教授の遺稿や調査カードからうかがえる「奈良学」を明らかにするとともに、本学のあゆみとともに発展、進化してきた「奈良学」の変遷を広く一般の方々にも知っていただくため、6月26日から7月20日の期間、奈良・東生駒キャンパス図書館にて特別展示「奈良学の軌跡展」萌芽期から



鷺森教授は「奈良学」の歴史に触れながら、奈良の魅力を再発見し、発信する窓口としての本学の役割について発表、岩井教授は現在の取り組みとこれからの「奈良学」の展望について解説、講座終了後には展示解説が行われました。受講者からは、「青山名誉教授の視点や各地に地域学が広がっていることがわかった」などの感想や、「地域の大学として「奈良学」の普及に期待する」などのご意見が寄せられ、本学が推進する学際的「奈良学」について、改めて一般の方々を知っていただく良い機会となりました。

黎明期、そして発展へ」を開催  
同時に今回の私立大学研究ブランディング事業における「奈良学」の研究成果も公開しました。

6月30日には、奈良・東生駒キャンパス図書館シーキューブにて公開講座「奈良学が目指すもの」を開講、文学部 鷺森浩幸教授(奈良学総合文化研究所 所長)と岩井洋教授が講師を務め、定員を上回る多くの方々が来場しました。



機織機を使った実習の様子(初級編)

「帝塚山大学 織物講座(初級編)(応用編)」の開催  
織物の歴史や複数の織物技術の習得を通じて、奈良の地域振興の活性化に貢献する人材を育成することを目的に、植村和代本学名誉教授が講師となり、社会人の学び直しプログラムの一環として、昨年10月3日から今年1月17日までの3ヶ月間、織物講座(初級編)を開講しました。

120時間の講義と実習を修了すると、文部科学省 学校教育法105条の規定による履修証明「帝塚山大学織物マイスター初級」が発行される特徴的な講座として開講しました。本講座の修了生からは、「たくさんの機(はた)織技法を学ぶことができ、非常に有意義な3ヶ月間でした」「見よ



植村名誉教授による「腰機」指導の様子(応用編)

う見まねで機織機を操作して、作品が出来上がるまでに成長できました」など、充実した内容の講座に対する満足の声が多く寄せられました。続編を望む受講生のために、修了生を対象とした応用編を5月8日より9月13日までの期間で開催することになりました。応用編では「織物の発明と展開」をテーマに、奈良の伝統産業である「奈良晒」や「大和機」についての講義に加え、大和機、腰機、芋績み(おうみ)、スプリング、縞など、様々な紡織技法について実習を通して習得することを可能としています。さらに10月2日からは、織物講座(初級編)の第二期がスタートします。(応募詳細は本誌P18)



## 織物講座(初級編)第二期生募集



社会人の学び直しの一環として、織物に関する歴史や、奈良の伝統産業である「奈良晒」・「大和機」の知識を深めるとともに、本学所蔵の「織機」を実際に用いて複数の織物技術を習得し、奈良の地域振興の活性化に貢献する人材を育成することを目的とした織物講座(初級編)を開講します。講座修了者には、学校教育法第105条に基づく履修証明書「帝塚山大学織物マイスター初級」を発行します。なお、初級編修了者を対象とした応用編を後日開講予定です。

講師：植村 和代(帝塚山大学名誉教授)

澤田 絹子(元帝塚山大学非常勤講師)

定員：10名(書類審査・面接による選考 ※先着順ではありません)

会場：奈良・学園前キャンパス 授業方法：講義および実習

開催期間：平成30年10月2日(火)～平成31年1月22日(火)

受講料：15万円(税込、教材費含む)

出願期間：9月1日(土)まで

申込方法等の詳細は本学HP(<http://www.tezukayama-u.ac.jp/>)をご確認ください。

### 【お問い合わせ先】

帝塚山大学 総務課 織物講座事務局

Tel 0742-41-4716(月～金9時～17時) Fax 0742-41-4717

## Public lectures

### 公開講座

帝塚山大学考古学研究所・附属博物館共催  
市民大学講座

申込不要 聴講無料

第410回 10月20日(土)14:00～15:30

「密教図像を語る～一意専心の芸術～」

<第12回企画展示関連講座>

講師：古川 攝一氏(大和文華館学芸員)

第411回 10月27日(土)14:00～15:30

「近江の古代寺院を語る」

<第31回特別展示関連講座>

講師：小笠原 好彦氏(滋賀大学名誉教授)

第412回 11月3日(土・祝)14:00～15:30

「蘇我氏を語る一古代史編一」

講師：鷲森 浩幸(帝塚山大学文学部教授)

第413回 11月10日(土)14:00～15:30

「蘇我氏を語る一考古学編一」

講師：坂 靖氏

(奈良県教育委員会事務局文化財保存課課長補佐)

定員：各回200名 会場：奈良・東生駒キャンパス2号館2101教室

### 【お問い合わせ先】

帝塚山大学考古学研究所・附属博物館

Tel 0742-48-9700 Fax 0742-48-8783

考古学研究所：

<http://www.tezukayama-u.ac.jp/social/institute/arch/>

✉ [arch@tezukayama-u.ac.jp](mailto:arch@tezukayama-u.ac.jp)

## 私立大学研究ブランディング事業

『帝塚山プラットフォーム』の構築による学際的『奈良学』研究の推進

帝塚山大学奈良学総合文化研究所

奈良学への招待XVII「帝塚山大学の奈良学研究」

申込不要 聴講無料

第1回 10月20日(土)10:30～12:00

演題「五條の歴史学的研究

－交通遺産としての五新線を中心として－

講師：岩井 洋(帝塚山大学文学部教授)

第2回 10月27日(土)10:30～12:00

演題「奈良晒と大和機」

講師：植村 和代

(帝塚山大学奈良学総合文化研究所客員研究員)

第3回 11月3日(土・祝)10:30～12:00

演題「永野鹿鳴荘の仏像写真について

－デジタル化作業からわかったこと－

講師：服部 敦子(帝塚山大学文学部講師)

第4回 11月10日(土)10:30～12:00

演題「斑鳩の民俗文化－奈良の生活文化研究－」

講師：高田 照世(帝塚山大学文学部准教授)

西連寺 匠(帝塚山大学大学院生)

第5回 11月24日(土)10:30～12:00

演題「矢田地蔵縁起絵の世界－奈良北西部の歴史・文化研究－」

講師：杉崎 貴英(帝塚山大学文学部准教授)

定員：各回100名

会場：奈良・東生駒キャンパス1号館1301教室(第4回のみ2号館2303教室)

### 【お問い合わせ先】

帝塚山大学 奈良学総合文化研究所

Tel 0742-48-8842(火・木・金9時～17時)

## Museum Announcements

### 附属博物館からのお知らせ

#### 第12回企画展示

「仏教美術のスズメII～仏画のヒミツ～」

企画展では、本学が所蔵する仏教美術の中で仏の姿を描いた仏画を中心に取り上げて、多彩な表現の魅力や込められた願いについて紹介いたします。

【期間】10/3(水)～10/31(水)

【入場料】無料

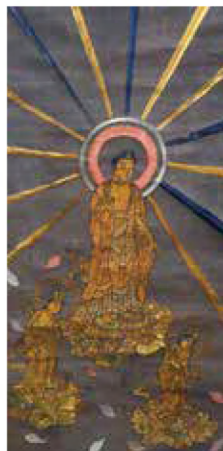
【会場】附属博物館

【開館時間】9:30～16:30

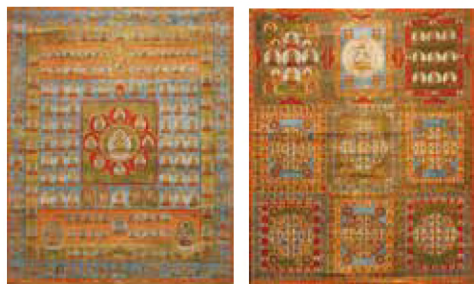
【休館日】日曜・祝日

※10/8(月・祝)は開館

【展示解説】10/20(土)・27(土)15:45～



「阿弥陀来迎図」



「両界曼荼羅図」

## 第31回特別展示

帝塚山大学附属博物館・東近江市能登川博物館共催展示  
「東近江の古代寺院とその源流—東アジアからの道—(仮)」

東近江市には法堂寺廃寺や宮井廃寺など古代寺院が8箇所あり、これらの寺院遺跡は古代、東近江の地に仏教が伝わったことを示す重要な証拠です。本展では、東近江の古代寺院から出土した瓦や埴仏、塑像などの出土品とともに、本学附属博物館が所蔵する東アジア各地の古瓦や埴仏を合わせ展示することによって、東近江の古代寺院の源流を探ります。



「獸面文軒丸瓦」  
(中国・南朝)

[期間] 11/14 (水) ~12/23 (日・祝)

[入場料] 無料

[会場] 東近江市能登川博物館

[会場開館時間] 10:00~18:00

[会場休館日] 月曜・火曜・祝日 ※12/23 (日・祝) は開館

[展示関連シンポジウム] 11/24 (土)

### 【お問い合わせ先】

帝塚山大学附属博物館

Tel 0742-48-9700 Fax 0742-48-8783

<http://www.tezukayama-u.ac.jp/museum/>